

2013 年度公開シンポジウム

主催：関東学院大学キリスト教と文化研究所 早稲田大学早稲田環境学研究所

協賛：中国雲南省昆明理工大学 中国陝西省西安交通大学

唐代における古代キリスト教

景教

the Nestorianism during the Tang Dynasty

奇岩と砂丘が繰り広げる過酷な道のり。オアシスの町々、バザールの賑わい、そして皇帝の都。東へ西へ、行き交う人々から溢れ出る唄と言葉。ペルシャを経てシルクロードを東漸したキリスト者たちは帝都長安に辿り着いた。全てを神にゆだね、彼らが西から携えた信仰とは何か。

2014年2月19日（水） 午後1時～3時

早稲田大学早稲田キャンパス 19号館 309教室

東京都新宿区西早稲田 1-1-7

地下鉄東京メトロ東西線 早稲田駅から徒歩5分

プロジェクトリーダー

「景教研究をはじめるとあたり」

関東学院大学学院長・教授 森島牧人

パネリスト

「ネストリアン宣教師たち」 関東学院大学キリスト教と文化研究所客員研究員 勸田義治

「西安・洛陽における景教碑比較研究」 中国昆明理工大学専任日本語講師 洪 涛

「古都長安における景教徒」 早稲田大学早稲田環境学研究所招聘研究員 吉川成美